

犬の伝染病・予防





犬の伝染病・寄生虫



- 狂犬病
 - 人が感染し発症すると100%死亡
- ウイルス性伝染病
 - ジステンパー・パルボなど
- 寄生虫
- ノミ・ダニ
- フィラリア





狂犬病予防注射

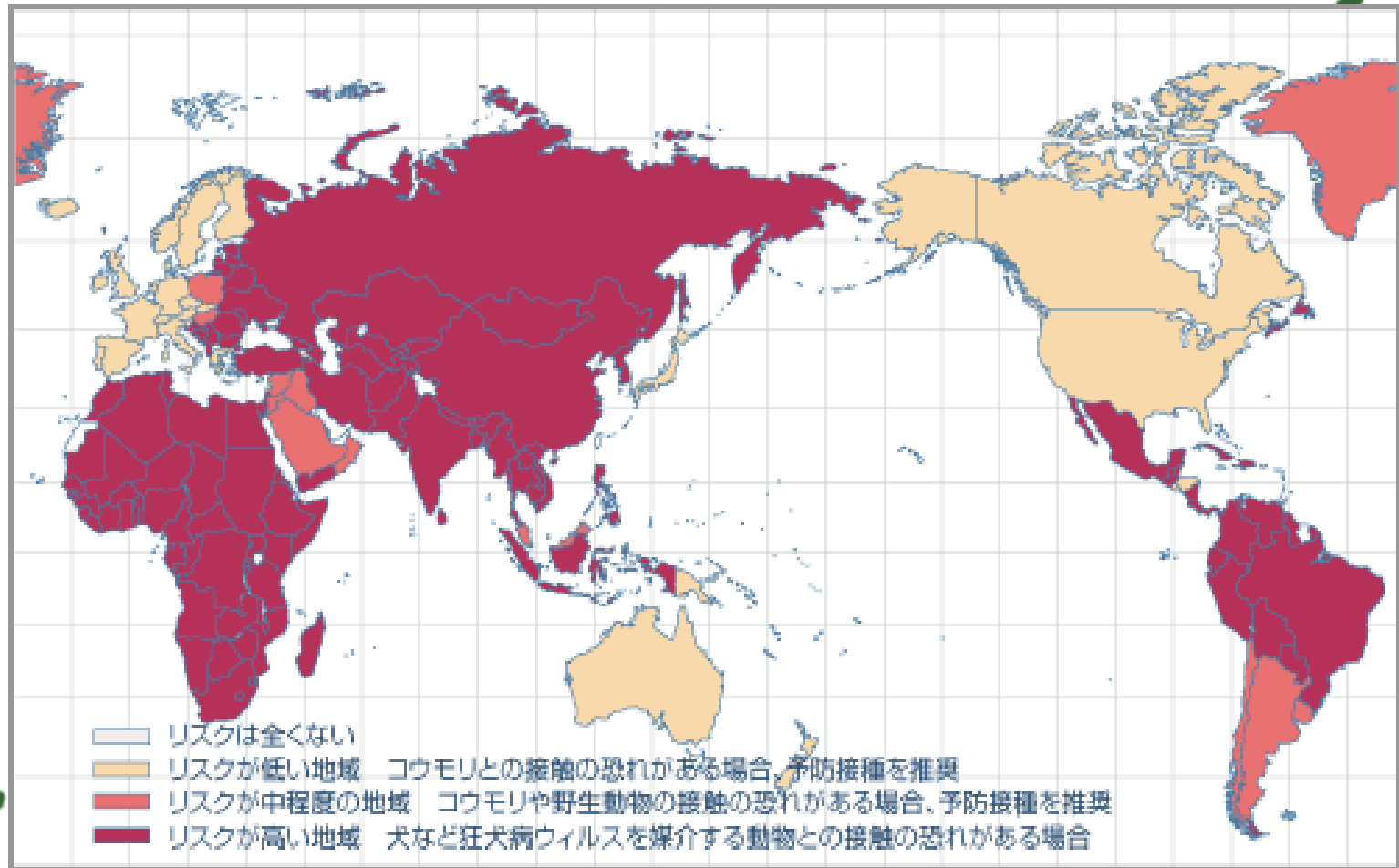


- 犬を飼ったら
 - 市町村への登録が必要
 - 年1回の狂犬病予防注射
 - 生後90日以上の子犬に義務
- 4月に市町村主催の集合注射
- お近くの動物病院でいつでも注射できる
 - 4月～6月に接種することを奨励





狂犬病





狂犬病



- ほぼ世界中で発生
 - 日本では1957年以降は国内感染はない
- 外国から狂犬病が入ってきたら大変！
 - 犬以外でもあらゆる哺乳類に感染する
 - ネズミや猫などからも広がる
 - 犬に予防注射をしていないと爆発的に広がる可能性がある
 - 人以外の動物で狂犬病感染が判明すると、口蹄疫や鳥インフルエンザどころの騒ぎではない！





その他のウイルス性伝染病



- 予防注射で重症化を防げる（100%防げる訳ではない）
 - パルボ
 - ジステンパー
- 人にもうつる病気がある
 - レプトスピラ





ウイルス性伝染病の予防



・ 予防注射

- 子犬の時は2～3回の接種が必要
 - ・ 予防接種が終わるまで不特定多数の犬との接触は避ける
- 1歳以上からは年1回の追加接種が必要
- 予防接種証明書は大切に保管
 - ・ トリミング・ドッグラン・旅行などで必要
 - ・ 狂犬病予防注射証明書も必要な所が多い





寄生虫



- 消化管
 - 回虫
 - 条虫（さなだむし）など
- 皮膚・耳
 - ノミ
 - 家の中でも繁殖する
 - ダニ
 - 肉眼で見えるものと、見えない種類がある
- 薬で予防できる





フィラリア



- 蚊に刺されてうつる
- 心臓の中にフィラリア成虫が寄生する
 - 心臓の中の弁などを傷つける
 - 血液の流れを妨げ、心不全を起こす
 - 重症化すると腹水が溜まり、咳が止まらなくなったり、突然死する
- 薬で予防できる





寄生虫予防方法



- 消化管
 - 虫下しの内服・注射・スポットタイプ…
 - 寄生虫の種類によって薬が異なる
- ノミ・ダニ予防
 - スポットタイプ
 - 首輪タイプ
 - 内服・スプレータイプなど
- フィラリア予防（4月～12月・地域差あり）
 - 内服（1ヶ月に1回）
 - スポットタイプ（1ヶ月に1回）
 - 注射（半年に1回）

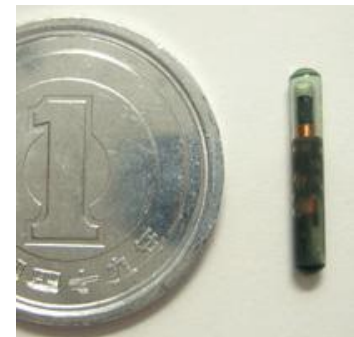




マイクロチップとは？



- 直径2mm×長さ12mm
- ICチップが内臓されていて固有の番号が記録されている
 - 国、動物種、メーカー、固体番号
- 動物病院で、首の後ろの皮下に専用の注射器で装着する
 - 「AIPO（動物ID普及推進協議会）」に番号を登録
 - 費用：5,000～10,000円位
- 全世界共通





マイクロチップを装着すると



- 迷子になった時
 - 専用のマイクロチップリーダーで、身元を特定できる
 - 京都府では、保健所・各市町村役場・警察署・動物病院がリーダーを保有
- 大災害が起きた時
 - 阪神大震災の時、多数の迷子動物が出たが身許がわからない子がほとんどだった
- 海外に行く時
 - ヨーロッパなど、国によってはマイクロチップを装着していないと入国させてもらえない

